

活気と潤いがあり、みんなが「育つ」学校を目指して

自分の一歩 みんなの一歩

校長室だより II

朝霞市立朝霞第一小学校

令和3年6月23日

No.27 (合同No.9)

校長 野口 邦彦

命も守る学習

2年生自転車運転免許実技試験(6/9)、不審者対応訓練(6/18)が行われました。どちらも、「命を守る」ための大切な学習です。

自転車運転免許実技試験は、普段の生活の中で、自転車を安全に運転するため、自分が事故にあわないための運転方法を学ぶ学習です。私も一部見させていただきましたが、子ども達が普段どのように自転車に乗っているのかが、よくわかりました。曲がり角、車の脇の通り方、歩行者に対する配慮など、今回の学習は知識を得るというよりも、何よりも実践力に変えてほしいと思うものです。小学生になれば自転車に乗ることも多く、ましてや一人で乗る機会もあるかと思えます。こういった学習を通して、「ここは止まるんだ」と、一旦停止することで、大事故を防げることもあります。曲がり角や見通しの悪い場所では、必ず「**止まる、見る、待つ、確かめる**」を、ぜひ実践できるよう、学校と家庭の両面で指導をしていければと思います。

4年自転車運転免許実技試験



不審者対応訓練(不審者確保)



が気づかれたと感じ、出ていったというケースもあります。)③不審者と確定したら、子ども達は遠ざけ、複数の教員で対処すること。(もちろん警察に連絡を)などが大切であると言われていきます。20年前の池田小事件が、なぜ起きてしまったのか、当事者意識をもって、今、考えていくことが大切です。

次に不審者対応訓練、これは20年前の池田小であった事件を教訓に、「もし不審者が学校に侵入したら」を仮定した訓練です。これは、子ども達はもちろんですが、どちらかと言えば、我々教員側が、いかに子ども達を守れるかが重要であると思います。今回は、コロナ禍ということで、少しレアな形で訓練を行いました。実際には①まずは不審者を決して校舎(できれば校内)には入れない事。②もし、校舎で不審な人物を見かけたら、すぐに教職員間で情報共有すること。(教員からあいさつをすることで、不審者

参考知識

「さすまた」不審者対応に使う道具です。この「さすまた」不審者を取り押さえる道具と思いがちですが、警察の方に聞くと、素人がこれで取り押さえようとすると、逆に犯人にやられてしまうということです。「さすまた」は取り押さえるのではなく、床に叩きつけ大きな音を出すことで、犯人を近づけないことの方が有効という事です。参考に。

